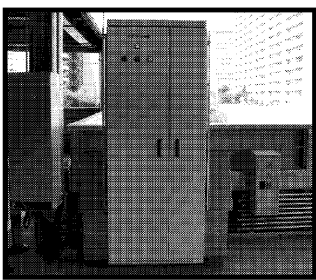


令和4年度
気候変動アクション
環境大臣表彰

普及・促進部門
受賞!

EV（電気自動車）、PHV（プラグインハイブリッド車）用
EVロータリー
駐車場充電システム



導入実績
千葉県流山市役所&
千葉市美浜区／大規模集合住宅
(ミハマシティ検見川浜Ⅱ街区)など

**株式会社船橋総行**

大きなアクションを産業界からー 地球温暖化防止に向けて

次世代へ持続可能な地球環境を継承していくために、各国、各企業、一人ひとりが意識し積極的に取り組むべき環境問題。各方面、各機関ではすでに、環境保全についてのルールづくりの段階ではなく、社会活動において即実行・即実装へと差し迫っている状況だ。世界人口が80億人を超え、100億人を超える日もそう遠くはないと試算されている。そのような中で、全ての人類とその他生物が多様性を持って、限りある地球資源の中で共存していく環境を未来へとつないでいく努力は、一層加速させていかなければならない。

気候変動「基金」を創設

国連が提唱する、2030年までに達成すべきとする「持続可能な開発目標（SDGs）」の13番目には、「気候変動に具体的な対策を」という項目が盛り込まれている。二酸化炭素（CO₂）やメタンガスなどの温室効果ガス（GHG）排出量増加や、森林伐採や焼失などの森林破壊に端を発する地球温暖化は、いかに抑えていくか。目標達成まで残り8年を切る中で、各人の取り組みが喫緊の課題となっている。

気候変動枠組条約第27回締結国会議（COP27）が当初の会期を延長し、11月6日から20日までエジプトのリゾート地、シャルム・エル・シェイクで開催された。温暖化による気候変動が深刻化する中、干ばつや異常気象、海面上昇による高潮の被害などが地球規模で頻発しており、これ以上の温暖化を断固阻止するために各国政府が意見交換・交渉を行った。会期中、新興・途上国側が温暖化被害による経済的救済を協議するよう要求し、気候変動の影響による「損失と損害」について補償する基金を創設することで各国が最終合意し、開幕した。しかし、温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」に掲げられた「1.5度Cの目標（産業革命前からの気温上昇を1.5度Cに抑える取り組み）」を実現する、グローバル視点での具体的な脱炭素化対策は先進国と新興・途上国間で妥結せず、来年のCOP28開催まで持ち越された。

地球規模での気候変動が原因で引き起こされている自然災害。今年の夏、およそ2カ月間降り続いた雨により、パキスタンは国土の3分の1が水没した。異常気象がもたらした大規模水害として記憶に新しい。北極付近における気温も

上昇傾向にある。赤道付近の大気と地表の温度差が小さくなる影響で、ジェット気流（偏西風）の弱体化が問題視されている。偏西風は流れが弱まると大きく蛇行し、世界規模での気象条件に大きな影響を与える。日本でも前線停滞による水害が毎年発生している（図）。

が、今年は東北地方上空で前線が停滞し、記録的な大雨被害が発生した。偏西風の蛇行が原因の一つと考えられている。

冬季にたびたび発生が確認されている「爆弾低気圧」は、南の海水温上昇による高温多温化が影響している。台風発生時のメカニズムと似ており、冬場、北日本を中心に豪雪や暴風被害が年々増える傾向にある（図）。

「グリーンインフラ」官民連携で基盤設立

資源の利活用、また温暖化を防止する「グリーンインフラ」の考えが少しずつ浸透し始めている。道路舗装によって地表が覆われることで、降り注いだ雨水が地面に浸透できず、に引き起こされる内水浸水。年々深刻化する内水浸水被害を抑える解として、樹木を植えるなどの「グリーンインフラ」の活用が進められている。

地表を現したランドスケープを計画することで、地域住民に自然を身近に感じられるような場を創出できる上、真夏には木陰を利用してヒートアイランド現象の緩和などに効果が期待できる。また、雨水を一時的に貯水する機能を設置し、トイレなどの生活排水に利用することでも水資源の有効活用する取り組みなども、都市部を中心に広がっている。

こうした自然由来の事象を生活インフラに活用する「グリーンインフラ」を積極的に推進するため、国土交通省は「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」を設立。日刊工業新聞社と共催で来年2月1日から「グリーンインフラ産業展2023」を東京・有明の東京ビッグサイトで開催する予定だ。

鹿島や清水建設などの大手セネコンをはじめ、研究機関や団体などが多数出展し、グリーンインフラに関するサービスや製品、ソリューションを展示・紹介することでも水資源の有効活用

CO₂削減ー産業界に期待

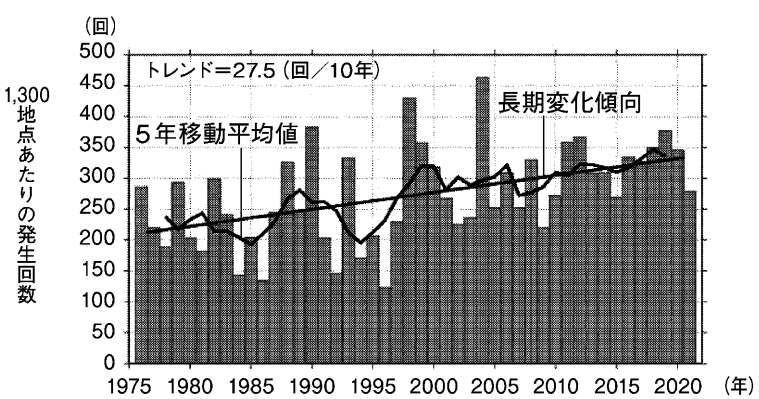
わたが国は30年度までに13年度比46%のGHG削減を目標に掲げており、経済、社会、産業、そして消費者自らの大胆な行動変容とライフスタイル変革が求められている。日本におけるGHGの内、90%以上がCO₂であり、わが国全体における工場などの産業部門でのCO₂排出が多くなっている現状から、産業界でのCO₂削減対策と、その効果に大きな期待が寄せられている。表彰式では「受賞製品は、社会実装・実行されて初めて、G H G削減の効果を発揮する。今回の受賞を契機に、受賞製品や技術はさまざまな地域に広めていくことが大切で、今後は普及拡大に尽力してもらいたい」との講評が発表された。



環境問題に取り組む企業経営者が多数表彰された「令和4年度気候変動アクション環境大臣表彰」の授賞式。左から船橋総行の代表取締役社長、環境大臣、受賞者。背景のスクリーンには「気候変動アクション環境大臣表彰 普及・促進部門 令和4年度気候変動アクション環境大臣表彰」の文字が映し出されている。

新技術を大臣表彰

表彰式を行った。環境問題、気候変動課題への解決に向けて全く新しい技術開発、インパクトある製品開発、取り組みなどが多数選ばれ、高く評価された。表彰式では「受賞製品は、社会実装・実行されて初めて、G H G削減の効果を発揮する。今回の受賞を契機に、受賞製品や技術はさまざまな地域に広めていくことが大切で、今後は普及拡大に尽力してもらいたい」との講評が発表された。

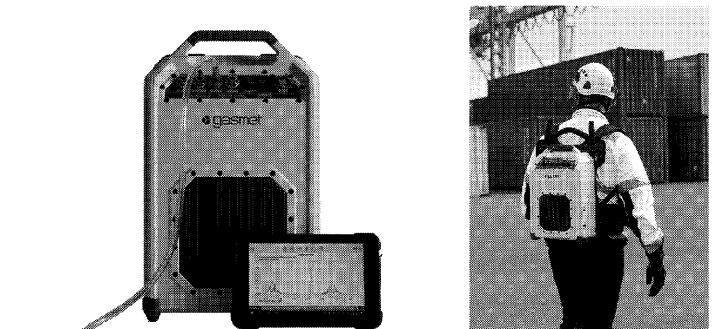


全国1時間降水量50mm以上の年間発生回数 (1976-2021年)

大きなアクションを産業界からー

地球温暖化防止に向けて

NEW! 「DIK-GT5000 IoT対応型ポータブルFTIRガス分析装置」



Web検索 **DIK FTIR** 検索

- ・IoT対応型！ 遠隔地でのデータも確認可能！
- ・温室効果ガスや工場内のガス測定に最適！
- ・ポータブルタイプでガスの50成分同時分析が可能！
- ・小型軽量9.4kg！ バッテリー駆動！

土と水を守る **Daiki** SOIL & MOISTURE 土と水の環境測定機器メーカー **大起理化学工業株式会社**
〒365-0001 埼玉県鴻巣市赤城台 212-8 URL: www.daiki.co.jp
TEL 048-568-2500 / FAX 048-568-2505 e-mail: mbox@daiki.co.jp



超微粒摩砕機
スーパーマスコロイダーIV®

創業218年 設立100年
100th Anniversary MASUKO Since 1922



SDGsに貢献する!
弊社は「ダイヤモンド以外のあらゆる物質を超微粒化する」をテーマに、常に新技術の開発に取り組み、多くの産業分野においてナノ領域の粉碎を可能にまいりました。
中でも1965年、理論的に最高の超微粒粉碎効果が得られる「石臼による摩砕」で世界に先駆けて実用化に成功した「スーパーマスコロイダー」。本機は別名「融砕機」とも云われ、融けるように感じるほどの超微粒化を可能にした粉碎機で、現在も進化を続けております。

CNF
EV用バッテリー
化粧品
医薬品
食品
各種リサイクル

ナノの世界に挑戦する **増幸産業株式会社**
〒332-0012 埼玉県川口市本町1-12-24
Tel.048 (222) 4343 (代) Fax.048 (223) 9790
http://www.masuko.com

**MAS & MIRAI**

令和4年度 気候変動アクション 環境大臣表彰 受賞者一覧			
開発・製品化部門（4件）			
緩和分野	気候変動アクション大賞	株式会社 フミン	暑い熱をガラスで止める省エネスプレーガラスコーティング特許技術
	気候変動アクション環境大臣表彰	東日本旅客鉄道株式会社	脱炭素社会に向けた水素ハイブリッド電車「HYBARI（ひばり）」の開発
		株式会社 明電舎	脱炭素社会に貢献！世界初SF6ガスを使用しないエコタンク形遮断器
		大成建設株式会社 技術センター	カーボンゲティブを達成した「環境配慮コンクリート・T-eConcrete」の開発と社会基盤への実装による脱炭素社会の構築
適応分野	気候変動アクション大賞	該当なし	
	気候変動アクション環境大臣表彰	該当なし	
緩和・適応分野	気候変動アクション大賞	該当なし	
	気候変動アクション環境大臣表彰	該当なし	
先進導入・積極実践部門（9件）			
緩和分野	気候変動アクション大賞	株式会社 古湧園	愛媛県初の環境対応型「ホテル古湧園 遥（HARUKA）」
	気候変動アクション環境大臣表彰	東急不動産株式会社	「発電するデベロッパー」が挑戦する再生可能エネルギー事業を通じたRE100達成と地域活性化
		穴吹興産株式会社	省エネ診断を起点とした築古テナントビルの普及型ZEBの実現
		株式会社 アイ・グリッド・ソリューションズ	分散型太陽光発電システムによる「再生可能エネルギーの余剰電力循環モデル」
		エルクホームズ株式会社	HEAT20 G2グレードを超える断熱性能によるZEH推進
		徳島バス株式会社 東亜合成株式会社	「副生水素」を活用した「中四国初」となる水素（燃料電池）バスの導入～「地産水素」による「全国初」の製造・供給一体型水素ステーション開所を契機として～
適応分野	気候変動アクション大賞	該当なし	
	気候変動アクション環境大臣表彰	該当なし	
緩和・適応分野	気候変動アクション大賞	大和ハウス工業株式会社	日本初：国内外5つの認証を取得「みらい価値共創センター（コトクリエ）」
	気候変動アクション環境大臣表彰	株式会社 宮城衛生環境公社	脱炭素社会の実現を目指すカーボンオフセットへの挑戦
		株式会社 明電舎／明電興産株式会社	明電興産新社屋にABWおよび明電舎製マルチPCSを導入
普及・促進部門（11件）			
緩和分野	気候変動アクション大賞	須山建設株式会社	「普段着のZEB」を目指し普及版のZEB建築の開発・実践して地域のZEB化を推進
	気候変動アクション環境大臣表彰	静岡県立浜松城北工業高等学校	「地球にやさしいエンジニア」を目指し共感の輪を広げる環境教育活動
		大和板紙株式会社	「紙を紙として再生する」循環型リサイクルシステムによる紙ゴミの世界
		株式会社 ダイエー	～お客さまにご協力をいただきながら～フードドライブ活動の推進などによる食品ロスと温室効果ガスの削減
		NPO法人 活エネルギーアカデミー	高山エネルギー大作戦
適応分野	気候変動アクション大賞	該当なし	
	気候変動アクション環境大臣表彰	該当なし	
緩和・適応分野	気候変動アクション大賞	オイスカ浜松国際高等学校	浜と松プロジェクト～災害に強い 美しい海岸へ～
	気候変動アクション環境大臣表彰	学校法人立命館 立命館中学校・高等学校	「エコスクール」を活かした気候変動対策や環境教育
	気候変動アクション環境大臣表彰	流山ゴーヤカーテン普及促進協議会	ゴーヤを使用した緑のカーテンの普及啓発
	気候変動アクション環境大臣表彰	南三陸少年少女自然調査隊	かけがえのない地域の自然環境を守り伝える活動
	気候変動アクション環境大臣表彰	株式会社 LIXIL	窓からECOシェアプロジェクト
	気候変動アクション環境大臣表彰	株式会社 船橋総行	EV（電気自動車）充電インフラ設置事業
イノベーション発掘・社会実装加速化枠			
		該当なし	
気候変動アクション ユース・アワード（2件）		熊本県立熊本農業高校 養豚プロジェクト 真岡児童館	養豚業におけるゼロエミッションへの挑戦 小学生が自ら考え、行動する気候変動対策

若い世代が注目
企業の環境行動

今後、環境問題に取り組む企業にとって、その一歩を踏み込む勇氣と決断は大変な難関が高くなる。しかし、この一歩が環境問題に取り組み、バイオニア企業として規範となれば、多くのフォロワーへとつながり、活動を広げていくきっかけとなる。

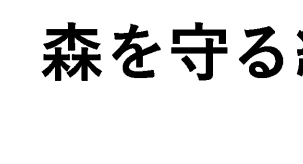
地球環境はとりわけ次世代に大きな影響を及ぼす問題であり、各社がどのような努力をもって気候変動問題に取り組んでいくのか、若い世代から常に注目されているといえる。

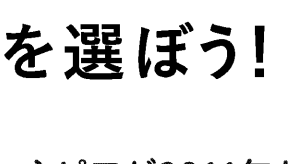
**OJI**

**nepia**

**WWF**

**FSC**

**森を守る紙を選ぼう!**

**Support the SDGs** FSC®はSDGsの目標達成に寄与します。

ネピアが2011年から採用しているFSC® 認証紙は、WWFが推奨する世界の森を守る紙です。WWFはFSC® 認証を応援しています。FSC® C018118

©ROYOJI NAKAJIMA

WWF(世界自然保護基金)は、FSC®を応援する環境保全団体です。「人と自然が調和して生きられる未来」を目指し、100カ国以上で活動しています。FSC® C018118 WWF® and ©1986 Panda Symbol are owned by WWF. All rights reserved.

